

平成 25 年度 離島漁業再生支援交付金による取組概要

1. 集落協定の概要

都道県名：鹿児島県

市町村名：南種子町

「種子島」

協定締結集落名：南種子集落

交付金額：7,752千円

協定参加世帯数：57人（うち漁業世帯57人）

2. 協定締結の経緯

南種子町は3方を海に囲まれ優良な漁場が多く、これまで漁業世帯個々が海域環境の管理を行っている現状にあったが、近年水産資源の減少や魚価の低迷、また漁業者の減少や高齢化等の課題を抱えているため、水産資源の豊富な優良漁場の形成や、魚価の安定化を図ることなどを目指して、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

近年、魚介類の漁獲量が減少している状況のため、カナコ籠・イカ柴の投入によるイカの産卵場・育成場の整備や藻場増殖プレート設置、サメ駆除、漁場監視など漁場の生産力の向上に関する取組を実施することにより、地域漁業の活性化を図ることを目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

また、海岸に流木・ロープ等のごみが漂着し、海岸線の環境が悪化しているため、15ヶ浦の海岸清掃を行い環境保全に努めた。

②集落の創意工夫を活かした新たな取組状況

今後の漁具漁法の普及を図るため、メカジキを対象とした「立縄」の操業を昨年引き続き実施した。

また、小笠原地方で雑魚カゴを使ったイセエビ操業の事例があるので、新たに雑魚かごを製作し、試験操業を実施した。

4. 取組の成果

イカの産卵場・育成場の整備事業については、前年度投入したカナコ網の引き上げを行ったところ、場所によるばらつきはあるものの産卵の痕跡が多数見られた。イカの産卵が期待されることから昨年に引き続きイカ柴の投入を行った。藻場増殖プレート設置についてはこ

れまでの実績で期待される広田浦の沖に500枚のプレート設置した。今後の藻場増殖の増加に期待ができるものと思われる。

漁場監視作業では、現場で会った住民等に積極的に密漁禁止のことをPRすることで、密漁者の減少につなげることができた。

サメ駆除では、集団駆除を2箇所において10月に2日間、11月に2日間実施し、個人借上げを含め、合計111匹のサメを駆除した。なお、昨年に引き続き、買取価格については10kg未満は1,000円/kg、10kg以上100kg未満は3,000円/kg、100kg以上は、5,000円/kgと定め、サメを駆除し、操業中のサメ被害の軽減が図れた。

海岸清掃については、漁協組合員等にも声かけを行なって実施し、海岸の環境保全に努めた。

新たな漁具・漁法の導入に向けて、メカジキをねらった「立縄」操業を11月に実施をした。また、本年度イセエビをねらった「雑魚カゴ」の操業を12月に実施した。しかし、思うような成果は得られなかった。

色々な話し合いや取り組み方法について再度検証し、今後を活用していけるものと期待が持てる。